

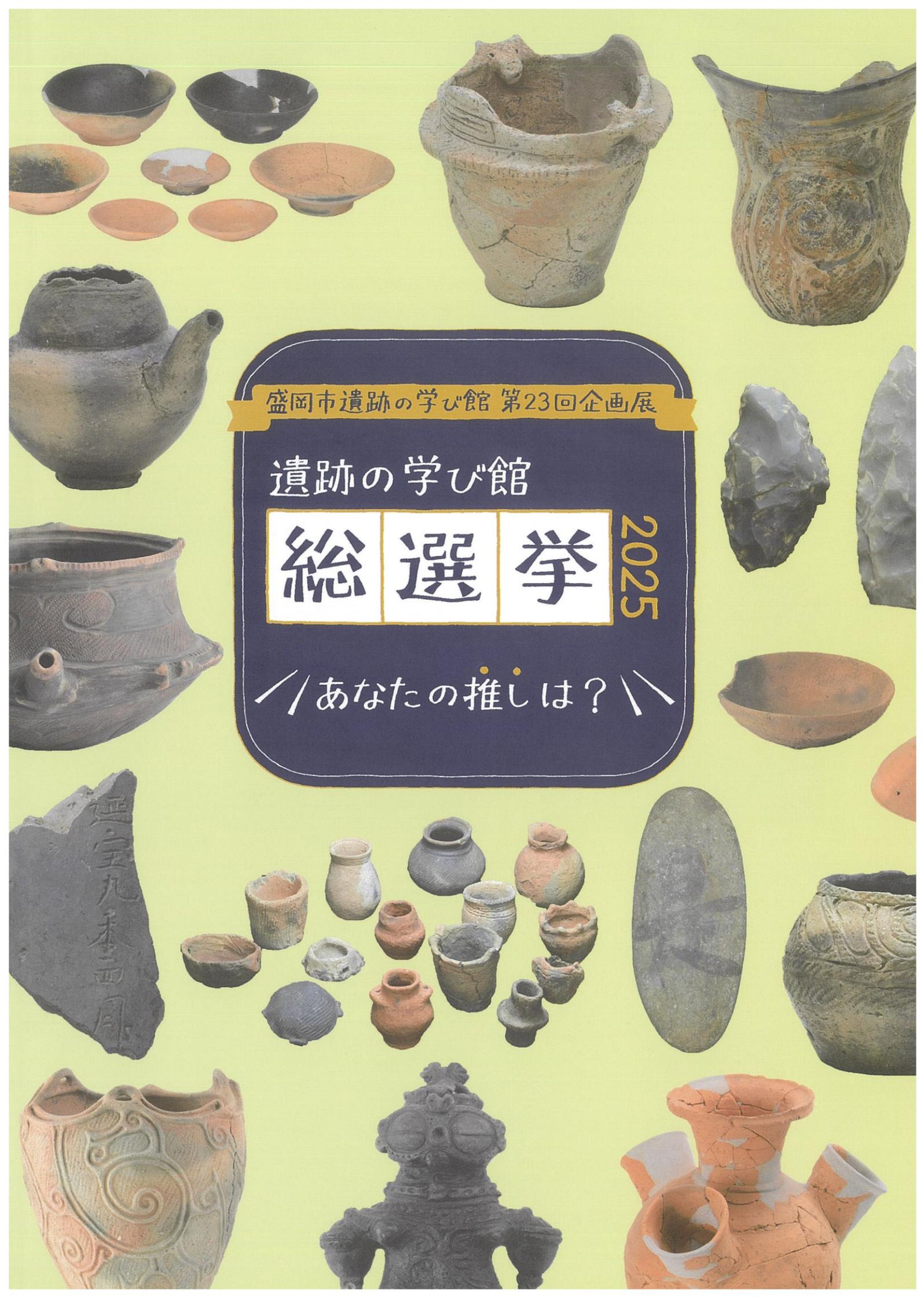
盛岡市遺跡の学び館 第23回企画展

遺跡の学び館

総選挙

2025

／あなたの推しは？＼



# ごあいさつ

盛岡市内には現在789ヶ所の遺跡が存在し、各種開発等に伴う発掘調査によって多くの遺構や遺物が確認されています。当館には、造形が素晴らしいもの、出土例が少ないものなど、さまざまな遺物が収蔵されており、毎年展示会等で市民の皆様に公開を行っております。

また、当館では発掘調査はもちろん、その後の資料整理作業や、展示会、講座・講演会、各種体験学習会など、さまざまな事業や活動を行っており、埋蔵文化財事業を担当する職員、学芸事業を担当する職員、施設の維持管理を担当する職員など、多くの職員が業務にあたっております。

今回の企画展は、収蔵されている資料の中から、職員それぞれがいち推しの資料を選び、その理由と共に紹介するとともに、来館者の方々に投票をしていただき、遺跡の学び館の1位を決めるという、来館者参加型の展示となっております。本展示をご覧の方々に、当館収蔵品の中から「推し」の資料を見つけていただけますと幸いです。

令和7年10月

盛岡市遺跡の学び館  
館長 遠藤 征司



## 館長おすすめ



### 遺跡の学び館保管展示室

私の推しは保管展示室です。遺物を保管しておく収蔵庫なのですが、普通の収蔵庫とは違い、ガラス張りでディスカバリーから中が見えるようになっています。また、中に入って見学することも可能で、遺物を間近で見ることができる珍しい施設です。タイミングが良ければ、入れ替え作業が見られるかもしれません。

## 開催要項

会期/令和7年10月4日(土)~令和8年1月18日(日)  
会場/盛岡市遺跡の学び館企画展示室  
主催/盛岡市遺跡の学び館  
後援/岩手考古学会  
朝日新聞盛岡総局 読売新聞盛岡支局  
毎日新聞盛岡支局 時事通信社盛岡支局  
共同通信社盛岡支局 河北新報社  
デーリー東北新聞社 岩手日日新聞社  
NHK盛岡放送局 IBC岩手放送  
テレビ岩手 岩手ケーブルテレビジョン  
めんこいテレビ 岩手朝日テレビ  
エフエム岩手 ラチオ・もりおか  
情報紙ゆうゆう (順不同)

## 関連事業

学芸講座  
調査員いち推し! 資料紹介-縄文編-  
講師/当館職員  
日時/令和7年10月26日(日)  
13:30~15:30  
会場/盛岡市遺跡の学び館 研修室  
学芸講座  
調査員いち推し! 資料紹介  
-古代・中近世編-  
講師/当館職員  
日時/令和7年11月16日(日)  
13:30~15:30  
会場/盛岡市遺跡の学び館 研修室

# もくじ

- 4 はじめに
- 6 やっぱり見た目が大事?カタチに注目

## 造形部門

- 実用の形を超えて 深鉢形土器
- 縄文の美、急須に見たり! 注口土器
- 自然と共に生きた縄文人 動物意匠付深鉢形土器
- なんととってもこの形! 多嘴瓶

- 11 【番外編】受付・管理の推しスポット

- 12 わたしがハマったきっかけは

## エピソード部門

- ぽってり丸い、魅力的な土器 注口土器
- 現代人も魅了される 縄文時代の技術力と芸術的センス 遮光器土偶
- 土器の製作工房が見つかった!? 土器製作工房関連遺構と遺物

- 16 昔のくらしに思いをはせる

## 考古学っておもしろい部門

- こどものおもちゃ?! ミニチュア土器
- 1,100年前の人が残した思い あかやき土器坏・礫
- 地中に埋められた思い 経石
- その時何があったのか!? 丸瓦

- 21 【番外編】サポーターズの推しはコレ

- 22 よくよく見るとよくわかる

## 意外と〇〇部門

- プロの仕事 珪岩製尖頭器
- 残念な縄文土器 小型深鉢形土器
- 一見きれいに見えるけど…本当はそうでもない? 壺形土器

- 26 【番外編】発掘作業員の推しはコレ

- 30 おわりに

## 凡例

- 1 本書は、第23回企画展「遺跡の学び館総選挙2025-あなたの推しは?-」の展示図録である。
- 2 本書の掲載資料及び掲載順序は、展示会場の内容と異なる場合がある。
- 3 掲載写真及び掲載図のうち、特記のないものは、当館収蔵・撮影・作成である。
- 4 職員の似顔絵は、生成AIを使用し当館職員が作成したものである。
- 5 本展の企画構成及び本書の執筆編集は、当館職員の協議協力のもと、鈴木俊輝・田老茜理・千葉貴子・今野公顕が担当した。

# 縄文の美、 急須に見たり！

## 宇登Ⅰ遺跡 注口土器

縄文時代晩期

何と言っても、文様と土器の形。精緻かつ優美で、バリエーションが豊富です。縄文人の技術に驚かされます。

左から4つめの注口土器の表面は部分的に赤く、縄文時代には、赤色に塗られていたことが分かります。おそらくは、赤色と黒色のツートンカラーだったのでしょう。精巧な作りであるため、実用品というより、お祭りなどの非日常の場で使われた土器だと思われます。縄文人は注口土器をどのように使っていたのでしょうか。想像は無限大に広がります。



推薦者



館長補佐  
Y.K

写真の縄文土器は、今からおよそ3,000～2,300年前の縄文時代晩期、東北地方で盛行した「亀ヶ岡式土器」を代表する土器です。

宇登Ⅰ遺跡は、大洞C2式期がメインの遺跡であるが、B式～A式期までの土器が出土しているため、型式変遷がよくわかる。

特に注口土器は、大洞B式から大洞C2式までの型式変化がよくわかる。文様的には、三叉文→羊歯状文→肉彫的な雲形文→簡素化された雲形文。器形的には、口縁部が椀状・胴下半が算盤玉状→上半部が「<」字状に屈曲・胴下半が半球状→上半部は「(」字状にカーブ・胴下半が半球状（C1期よりカーブが緩い）という変遷がよくわかる。

# 自然と共に生きた 縄文人

## 手代森遺跡 動物意匠付深鉢形土器

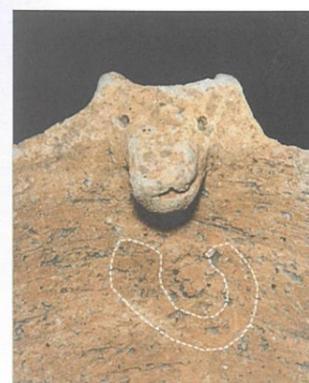
縄文時代晩期

手代森遺跡では、口縁部に向かい合うように動物の装飾が施されている土器が見つっています。片方は、耳が尖り丸みを帯びた鼻、もう一方は、耳が丸く鼻は突き出ています、親子のクマを表しているのでしょうか。自然と共に生きた縄文人だからこそ、生き物の特徴を正確に表現することができたのかもしれない。

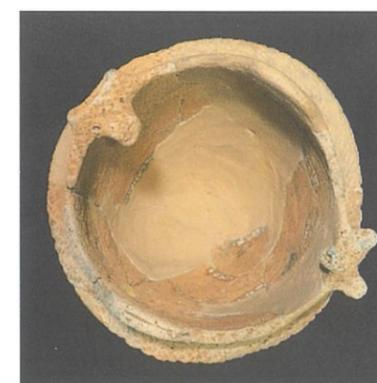
推薦者



学芸調査員  
R.T



白い点線部分は月の輪？



上から見た向かい合うクマ



右側の子グマ？

北海道や東北北部では、縄文時代後・晩期を中心にイノシシやクマを模した土器や土製品が出土しています。これらは、豊猟を願う祭祀の際などに用いられたと考えられています。

土器の内面を観察すると、横方向に器面をなでて調整した上に、三日月のようなU字状の擦痕が描かれているのが見えます。顔の下に描かれていることから、ツキノワグマの特徴である月の輪を表しているのかもしれない。

# 現代人も魅了される 縄文時代の技術力と 芸術的センス

## 手代森遺跡 遮光器土偶（複製）

子供の頃から土偶が好きで、その中でも独特な形と文様が施された遮光器土偶が、一番のお気に入りでした。人のように人じゃない造形、怪しさと可愛さが合わさったような雰囲気、何のためにつくられたか分からない謎だらけなところが遮光器土偶の魅力だと思っています。

各地で出土しており、グッズ化もして、その可愛さにより、私自身もグッズや商品を購入しています。



文化財主事 K.S



岩手県埋蔵文化財センターによって昭和58～59年の大沢川の河川改修工事に伴い調査を行い、遺物包含層からバラバラの状態で見つかりました。復元の結果、高さ30cm以上の姿になり、一部にベンガラが残っていたことから、当時は赤かったと考えられています。国の重要文化財に指定され、実物は岩手県立博物館に所蔵されています。

# 土器の製作工房が 見つかった!?

## 赤裳遺跡 土器製作工房関連遺構と遺物

赤裳遺跡 平安時代（11世紀中葉）

平成27年度、赤裳遺跡の調査に行きました。私の初めての発掘調査です。この調査では土器を製作するための工房痕跡が複数見つか、土器の材料である粘土を採取する「土取り穴」や、成形に使用した轆轤を固定する「轆轤穴」、そして土器を焼いた「土器焼成土坑（土器窯）」などがありました。

約1,000年前にここで土器を作っていた人がいたのか！と感動したのを覚えています。地域の歴史を知るうえで想像を駆り立てられる遺構たちです。



文化財主事 Y.I



土取り穴



轆轤穴上部土器埋納状況

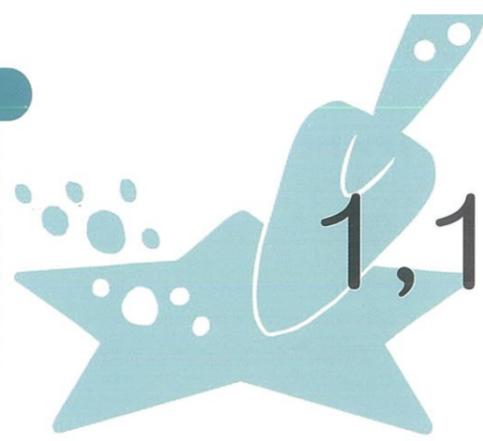


土器焼成土坑



出土遺物（土師器 坏・小皿）

赤裳遺跡のすぐ東側にある厨川地域には、当時この地を治めていた安倍氏の拠点である「厨川柵・姫戸柵」が存在したと考えられています。ここで作られた土器たちは、政治的な儀礼行為や宴会のため、安倍氏の館や柵に供給されていたと思われます。基本的には宴会道具は使い捨てられていたので、相当な量の土器を作成した頑張りを感じることが出来ます。



# 1,100年前の人が 残した思い

ふた また い せき  
二又遺跡 あかやき土器 つき れき  
坏・礫

へいあん じだい  
平安時代（9世紀後半）

これは、千百年ほど前のある日、壊されたカマドの上に重ねて置かれたものだ。

現代人は、年末年始やクリスマス、七五三や葬式、建設前の地鎮祭など、様々な機会に思いを込めて行事を行う。

千百年ほど前の平安時代の竪穴建物跡には、誰かがカマドを崩し坏を伏せて置いた行事の跡が見つかることがある。家族と共に行ったのだろうか。どんな思いを込めたのだろうか。

当時の人々の暮らしの一端を垣間見られる資料だ。

推薦者



文化財主査  
T.K



あかやき土器 坏



カマド納めの痕跡

平安時代、天皇を中心とした政府は9世紀前葉以降、行財政や地方統治体制の改革を行った。

盛岡周辺は803年の志波城（市内太田）の造営から政府統治が始まったが、この改革で志波城や徳丹城（矢巾町）が廃止され、胆沢城（奥州市）が各地の有力者層を介して統治するようになった。これによって地域の有力者層が力を付け、後の安倍氏・清原氏・奥州藤原氏発生の下地となった。併せて、新しい文化も流入した。有力者層の宗教儀式や葬送が変化したのみならず、9世紀後半以降、庶民の間で「カマド納め儀式」が行われるようになった。

時代の変化が庶民の暮らしをも変化させたことを物語る古代史上の資料は少ないが、この資料は庶民の信仰と暮らしの一コマをも読み取れる好例だ。

# 地中に埋められた 思い

しゆくだみなみきょうづか いち じ いっせきいちれい く よう とう きょうせき  
宿田南経塚・一字一石一礼供養塔 経石

かまくら じ だい ちゅうき えど じ だい ちゅうき  
鎌倉時代中期・江戸時代中期

考古学分野では珍しい文字資料のひとつなので、つい目を惹かれます。考古学資料には、仏具や呪具といった信仰に関するものが多くありますが、この資料のように具体的な祈りの内容が文字として残るものは少ないのではないのでしょうか。

また、文字には個性や為人が表れるので、「この人の字は〇〇なかんじだな」などと思いながら見るのが少し楽しいです。

推薦者



文化財主事  
H.O



多字一石経



一字一石経

宿田南経塚の経石は鎌倉時代中期、一字一石一礼供養塔の経石は江戸時代中期のものでされています。

元々経典を埋納する目的は、後世に教えを残すためでした。しかし、礫石経の経塚が庶民の間にも流行すると、地鎮や鎮魂、五穀豊穰、村内安全などの願いを込めて経石が埋納されるようになりました。

「埋納された経石」という資料ひとつで、当時の人々がどういった方法でどんな内容を祈ったのかが見えてきます。信仰において「埋める」という行為が持つ意味を考えさせられる資料です。



# 作業員の推しはコレ

発掘調査作業員や室内整理作業員のみなさんにもお話し資料を聞きました！

彼らの仕事なしには、発掘調査は成しえませんが！

こんなお仕事をしています！



▲野外調査  
遺構の実測をしている様子



▲室内整理  
手前では須恵器の接合中、奥側では凶面のトレースをしている様子



小山を登ると所狭しと重なりあう縄文遺跡群、圧巻でした。(Y.Hさん)

川目C遺跡 縄文時代

初めて自分が掘りだした遺物なので1番印象に残っていました。(A.Oさん)



赤袋遺跡 磨製石斧  
縄文時代

ほぼ完成に近い状態で出土し、渦巻文が印象に残っています。(Y.Hさん)



繋ぎこ遺跡 伏甕  
縄文時代

伏甕とは、住居内の床面下に底部に穴を開けて埋められている縄文土器。用途は不明。

しっかり形が残っていたので感動でした。(F.Cさん)

大新町遺跡 深鉢形土器  
縄文時代



土坑から沢山の土器が出土。後に住居の伏甕となりました。ベテラン作業員の方達と作業した時の思い出です。(K.Kさん)

柿ノ木平遺跡 伏甕  
縄文時代

令和5年度の埋蔵文化財調査資料展で展示された土器を復元したのは私です。(F.Sさん)

落合遺跡 深鉢形土器  
縄文時代



赤い部分は朱が付いている

はじめて接合しました  
ほぼ完成 (M.Sさん)



堰根遺跡 鉢形土器  
縄文時代



落合遺跡 壺形土器  
縄文時代

私が接合した土器です。始めはいわゆる普通の深鉢形土器かと思っていたら、接合が進むにつれ、たまごのようなラグビーボールのような形になったのでびっくりしました。とてもかわいらしい土器です。(S.Hさん)

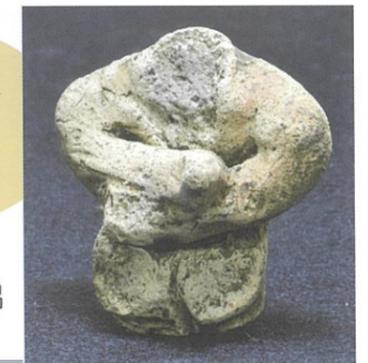
土偶とは、人の形をかたどった縄文時代の焼きもの。女性をあらわしたものが多く考えられている。

縄文人の髪型がおしゃれだと思ったから。(H.Tさん)



落合遺跡 土偶  
縄文時代

掘り当てた時、哀愁漂う背中と交差した腕に魅了されました。(Y.Kさん)



落合遺跡 土偶  
縄文時代

次のページへつづく...